



学校だより 10月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和4年9月30日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

ちょっとした自慢

校長 寺園 淳

コロナ禍、子どもたちが元気に遊ぶ姿は、私たち教員にエネルギーを与えてくれます。

さて、今年度の水泳学習の様子について私なりの振り返りをまとめてみました。本校では各学年、5回の学習に取り組みました。この回数は横浜市の小学校の中では一番多く実施した学校だと思っています。私も全ての学年の子どもと一緒にプールに入りましたが、その時の子どもの感想は、多くの子が水泳学習を楽しみにしていたということです。横浜市では安全に水泳学習を行うために水温と気温の条件が明確に決められています。その一つに「水温が気温を上回らないこと」があります。4年生の水泳学習が予定されていたある日、水温と気温が逆転（水温の方が高い）している状況にありました。当然、水泳学習は中止です。その時教室では子どもたちから「冷たい水を入れて、水温を下げればいい」という声が出たそうです。実際には行いませんでしたが、子どもたちのやる気を感じました。低学年は水泳学習の入門期に当たります。学習は「水遊び」として水に慣れることや潜ったり浮いたりすることが中心となります。今年の成果は下の表のとおりです。1年生ではほぼ全員の子どもが水に慣れることができました。2年生では80%の子どもが潜って「宝物」（ゴムでできたブロック）を拾うことができました。これはかなり高い通過率だと考えます。このような良い結果が出たポイントは「子どもが満足するまで活動に浸る」ことです。今年の学習では、水中鬼ごっこや宝拾いに子どもが十分満足するまで取り組みました。そして少しずつハードルを上げる中で、必然的に様々な動きを身に付けていきました。

	1年生	2年生
水に慣れる	95%	98%
頭まで潜る	63%	80%
体全体で浮く	51%	69%

私たち教師は、子どもが満足するまで取り組める学習や活動の在り方を研究していかなければならないことを改めて実感しました。

別ページで紹介している横浜子ども会議は、参加した下寺さん、小泉さんにとって貴重な学びの場になりました。感想を一言。

僕は今回、横浜子ども会議に行って、次のことを学びました。一つ目は他校の人とも一緒に分かり合って意見を出すこと、二つ目はいろいろな人の意見を聞き、様々な良いところを見つけること、そして何よりどんな場所でも自分の意見に自信をもって話すこと。この三つを学びました。子ども会議は中学校でも参加できるので、ぜひまた参加したいです。

6年2組 下寺 来渡

横浜子ども会議では、全体に向けて石川小・中村小・平楽中で協力して発表することができました。発表は緊張したけれど各ブロックの色々な意見を聴くことができ新しい発見できたので、楽しかったです。発表の場だけにとどまらずその意見を実行していけたらいいなと思いました。今、みんなの前で発表したり、何か新しいことを考えたりすることは面倒と思うかもしれないけど、価値観が広がり、良い経験になるので、ぜひ代表委員会などの発表の場に積極的に参加してみてください。私たち児童・生徒側が主体的になっていくことで学校の活動がより活発になっていくと思います！

平楽中学校生徒会長 小泉 千咲